



 $\sqrt{\sqrt{2}}$

 $\bigcap_{||}$

.....

AutoCAD ユーザーなら 知っておきたい 33のヒント

00

0 -

AUTODESK[®] AUTOCAD

AutoCAD ユーザーなら知っておきたい 33 のヒント

セットアップ \$ 基本

注釈

24. 外部参照 25. e-トランスミット

エコシステム

26. PDF 読み込み

1.	キーボード ショートカット	20. マルチ テキスト
2.	自動保存	21. スペルチェック
3.	クイック アクセス ツールバー	22. 検索と置換
4.	右クリック	23. クイック計算
5.	画層	
6.	表示順序	データ管理

表示

7.	ズーム	
8.	印刷スタイルの表示	
9.	共有ビュー	

オブジェクト

オブジェクト スナップ
 オブジェクトの選択表示
 移動/コピー/回転
 自動調整配列複写
 寸法

修正

プロパティコピー
 ダイナミックブロック
 グループ
 属性の分解
 図面比較

28. App Store 29. 業種別ツールセット 30. AutoCAD Web アプリ 31. AutoCAD モバイル アプリ

27. シート セット マネージャ

心得

32. どんどん失敗しよう 33. 自分のやり方を見つけよう





キーボード ショートカット

AutoCAD 固有のキーボード ショートカットを活用し、貴重 な時間を節約しましょう。ショートカットの新規作成や、既存 のショートカットの変更も可能です。

- [管理]タブ > [カスタマイズ] パネル > [ユーザ インタフェース]をクリックしま す。または、コマンド ラインに CUI と入力します。
- 2. [カスタマイズ]タブの左側ペインで[キーボード ショートカット]ノードの横の プラス(+)記号をクリックして展開します。
- 3. [ショートカット キー]ノードの横のプラス(+)記号をクリックします。
 - ・ショートカットキーを新規作成するには、[コマンドー覧]ペインから、コマンドを[ショートカットキー]ノードにドラッグします。
 - ・ショートカットキーを変更するには、[ショートカットキー]ノードの下のショートカットキーを選択します。

追加ヒント:ショートカット キーはコマンド エイリアスとは異なります。コマンド エイリアスは、コマンド ラインで使用するコマンドの短縮形です。コマンド エイリ アスを編集または新規作成するには、リボンの[Express Tools]タブに移動し、 [Command Aliases]ツールをクリックします。

注:[F4]キーは、AutoCAD LT ではタブレット入力デバイスの切り替えになります。

ファイルの安全確保

✓ 自動保存(U)		
5	間隔(分)(M)	

自動保存

自動保存設定を5分(または2分か3分)に設定し、さらに QSAVE[上書き保存]コマンドや[Ctrl]+[S]ショートカット を使い、手動で頻繁に保存しましょう。

自動保存ファイルは、自動保存機能によって自動的に作成されるバックアップファイ ルです。自動保存の間隔(分単位)を設定するには、[オプション]ダイアログボックスの [開く/保存]タブまたは SAVETIME コマンドを使います。自動保存は、図面が最後に 保存されてから変更があった場合にのみ実行されます。QSAVE[上書き保存]、SAVE [保存]、SAVEAS[名前を付けて保存]を使用すると、現在の.sv\$ファイルが削除さ れます。自動保存ファイルは、アプリケーションが異常終了した場合にのみ残されます。

自動保存ファイルの保存場所を確認するには、[オプション]ダイアログボックスの [ファイル]タブで、[自動保存ファイルの場所]のパスを調べるか、SAVEFILEPATH コマンドを使います。ファイルを見つけたら、ファイルの拡張子を.sv\$から.dwg に変更して開きます。

追加ヒント:自動保存ファイルを探すときに、拡張子が表示されていない場合は、 表示をオンにする必要があります。エクスプローラーの[表示]タブ > [表示/非表示] パネルで[ファイル名拡張子]チェックボックスをオンにすると表示されます。

03



クイック アクセス ツールバー

頻繁に使うツールは、画面上部のクイック アクセス ツール バー(QAT)に表示しておきましょう。QAT をカスタマイズす るには、右端にある小さなプルダウン式のコントロール ボ タンをクリックします。チェックを付けたり外したりすること で、QAT 内に表示するコマンドを設定できます。

ここでは、クイック アクセス ツールバーのドッキング場所を変えたり、従来の メニュー バーをオンにしたりすることもできます。クイック アクセス ツール バー内で要素をドラッグすることで、要素の表示順序を変更できます。

追加ヒント: リボン コマンドをクイック アクセス ツールバーにすばやく追加するには、リボンのコマンド アイコンを右クリックし、ポップアップ メニューか[クイック アクセス ツールバーに追加]を選択します。同様に、削除するには、クイック アクセス ツールバーの項目を右クリックします。



右クリック

右クリックでコンテキストメニューにアクセスできます。多くのユーザーに利用されている、生産性向上のための機能です。 メニューは状況に応じて変わるため、選択した箇所によって異なるコマンドが表示されます。

右クリックを[Enter]キーとして使用している場合、クリック時間に応じた右クリッ クの機能を使えば、右クリックによる[Enter]キー入力とコンテキストメニューの 両方を利用できます。この機能をオンにするには、[オプション]ダイアログボック スを開き、[基本設定]タブの[右クリックをカスタマイズ]ボタンで、クリック時間に 応じた右クリックの機能をコントロールするためのダイアログボックスが表示され ます。

この機能を有効にした場合、短く1回右クリックすると以前と同じく[Enter]キー として機能しますが、少し長押し(デフォルトでは 0.25 秒)すると、コンテキストメ ニューが表示されます。



画層

すべてを1つの画層上に作成するのは控えましょう。特定の機能や目的に関連するオブジェクトを同じ画層に割り当てて、図面を整理してください。たとえば、壁の画層とドアの画層は分けるとよいでしょう。

画層を使用すると、次のことができます。

- ・機能や場所に応じてオブジェクトを関連付ける
- ・関連するすべてのオブジェクトの表示/非表示を1回の操作で切り替える
- ・画層ごとに線種、色、線の太さなどの基準を指定する

画層の設定を確認するには、LAYER[画層管理]コマンドを実行して、[画層プロパ ティ管理]を開きます。コマンド ウィンドウで LAYER または LA と入力するか、 リボンの[ホーム]タブの[画層プロパティ管理]ツールをクリックします。

追加ヒント:外部参照と画層の数が多い場合は、すべての画層が正しくソートされるように、MAXSORT 変数の値を(既定値の1,000 から)増やすとよいでしょう。



表示順序

表示順序コマンドを使用すると、オブジェクトの重なりと表示 順序をコントロールできます。表示順序は、注釈を前面へ移動 し、ハッチングを背面に移動するように設定するとよいでしょ う。

リボンの[ホーム]タブ >[修正]パネルのドロップダウン リストをクリックし、[表示 順序]を選びます(または、DRAWORDER[表示順序]コマンドを使用します)。表示 されるオプションを選択し、修正するオブジェクトを選択して[Enter]を押します。

ー般的には、注釈オブジェクトは他のオブジェクトの前面に、ハッチングと塗り潰し は他のオブジェクトの背後に表示および印刷します。ワイプアウトオブジェクトは、 下にあるオブジェクトを修正することなく文字を追加するための空白領域を提供す るオブジェクトです。

注:重なっているオブジェクトの表示順序は、同じ空間内(モデル空間またはペーパー空間)でのみコントロールできます。





図面全体ズームの 実行前



メブジェクト範囲 ズームの実行前





オブジェクト範囲

ズームの実行後

図面全体ズームの

実行後

新規ビュー

ズーム

Z00M[ズーム]コマンド実行後に表示されるプロンプトを 使って、思いのままに図面を表示しましょう。Z00M[ズーム]> [図面全体(A)]を実行すると、表示中のすべてのオブジェクト または LIMITS[図面範囲]コマンドで設定した図面範囲が 表示されるように、作図領域の倍率が調整されます。Z00M [ズーム]>[オブジェクト範囲(E)]を実行すると、すべてのオ ブジェクトが画面に収まる最大倍率で表示されます。

ZOOM[ズーム]>[ダイナミック(D)]を実行すると、長方形のビュー ボックスを使用 して、画面移動およびズームできます。ビュー ボックスはビューを表現するもので、サ イズを変更したり、図面上で移動することができます。ビュー ボックスを移動したり サイズを変更すると、そのビュー ボックス内のビューがビューポートにちょうど収ま るように、画面移動またはズームが行われます。パース投影では使用できません。

追加ヒント 1:ホイール付きのマウスを使用している場合は、マウス ホイールをダブ ルクリックすると、オブジェクト範囲ズームがアクティブになります。

追加ヒント 2:画面移動時やズーム時のビューのスムーズな変化をオフにするには、 VTENABLE システム変数を使用します。0(ゼロ)に設定すると、画面移動時または ズーム時、回転時、スクリプト実行時にオフになります。



印刷スタイルの表示

[ページ設定]ダイアログ ボックスの[印刷スタイルを表示] にチェックを入れると、AutoCAD の図面を印刷時と同じよう に表示できます。

AutoCAD では、図面を色付きで表示してから、図面データを別の印刷フォーマット に変換します。印刷時にレイアウトがどうなるかを確認するには、通常、印刷プレ ビューを実行する必要がありますが、[印刷スタイルを表示]を使用すると印刷プレ ビューが不要になります。メインレイアウトをこのように設定する方法もあります が、別のレイアウトを作成してそれを「ライブ」プレビューとして使えば、従来の色付 きのレイアウトビューで作業できます。



共有ビュー

共有ビュー機能を使用すると、元の DWG ファイルを送信する ことなく、設計を社内外の関係者と簡単に共有できます。PDF の代わりに、どのブラウザーでも設計を表示してコメントを付 けることができるリンクを共有しましょう。

多くの人は、DWF ファイルや PDF ファイルを使用して設計のパブリッシュやメー ル送信を行っていますが、これは手間のかかる方法です。それよりも、表示可能なフ ァイルを AutoCAD で作成し、共有用リンクを使用して配布しましょう。インター ネットに接続されているデバイスであれば、リンクから設計をブラウザー上で表示 してコメントを付けることができます。共同作業者が共有リンクにコメントを付ける と、デスクトップ版の AutoCAD にすぐに表示されます。

SHAREDVIEWS[共有ビュー]コマンドには、AutoCAD のアプリケーション メニュ ーの[パブリッシュ]からアクセスできます。

注:共有ビューの有効期限は 30 日後に自動的に切れますが、いつでもリンクの有効期限を延長または終了することができます。





オブジェクト スナップ

オブジェクト スナップ(OSNAP[オブジェクト スナップ設定]) を使用すると、図面内の他のオブジェクトを基準にして、オブ ジェクトを正確に作図できます。たとえば、オブジェクト スナッ プを使用して円の中心から別の線分の中点までの線分を 作成することができます。

点の指定を求めるプロンプトが表示された場合は、オブジェクトスナップを指定 できます。既定の設定では、カーソルをオブジェクトスナップの位置に移動すると、 マーカーとツールチップが表示されます。

オブジェクト スナップを指定するには、点の指定を求めるプロンプトに対して、次の操作を実行します。

- ・ [Shift]を押しながら右クリックし、オブジェクト スナップのショートカット メ ニューを表示します。
- ・スナップの優先のサブメニューからオブジェクトスナップを右クリックして選択します。
- ・オブジェクト スナップ名を入力します。
- ・ステータス バーの [2D オブジェクト スナップ] ボタンの▼をクリックして 表示されるリストで目的のオブジェクト スナップをクリックします。この操 作で、定常オブジェクト スナップがオンになり、以降のすべてのコマンドで有効 になります。





オブジェクトの選択表示

選択したオブジェクトのグループだけを表示すれば、複雑な図 面や入り組んだ図面を編集しやすくなります。[オブジェクトを 選択表示]ツール(ISOLATEOBJECTS[オブジェクト選択表 示])を使うと、図面内の選択されていないオブジェクトを一 時的に非表示にできます。

右クリックメニューからこのコマンドを起動するか、コマンド ラインに ISOLATEOBJECTS と入力します。すっきりした図面領域での編集や作業が完了したら、UNISOLATEOBJECTS [オブジェクト選択表示終了] コマンドか、[オブジェクトの選択表示を終了] 右クリック オプションを使用すれば、オブジェクトの選択表示を終了し、非表示のオブジェクトを元に戻すことができます。

追加ヒント 1:入り組んだ図面の一部の領域をすっきりさせる目的で、選択表示で はなくオブジェクトを非表示にする場合は、HIDEOBJECTS[オブジェクト非表示] コマンドまたは右クリック メニューを使用して、選択したオブジェクトを一時的に 非表示にします。

追加ヒント 2: 既定では、オブジェクトの非表示または選択表示は、現在の作図作業 中だけの一時的なものです。ただし、OBJECTISOLATIONMODE を1に設定する と、次回以降の作業時にも、オブジェクトの非表示または選択表示が維持されます。



移動/コピー/回転

リボンの[Express Tools]タブにある[Move/Copy/ Rotate]などの Express Tools を使用して、ワークフローを 効率化しましょう。[Move/Copy/Rotate]を使用すると、基点 を一度選択するだけで、これらの操作をどれでも、もしくはす べて実行できます。

リボンの[Express Tools]タブに移動し、[Move/Copy/Rotate]をクリックしま す。移動、コピー、回転、または尺度変更するオブジェクトを選択します。基点を選択 し、コマンド ラインまたはカーソル メニューのオプションに従って、実行する操作 を選択します。

操作が完了すると、オプションが再び表示され、選択した同じオブジェクトと基点を 使用して別の操作を実行できます。必要であれば、[Base]オプションを選択して基 点を変更できます。

追加ヒント: [Express Tools] リボン タブに表示されない Express Tools を使用するには、メニュー バーのドロップダウン ウィジェットを使用するか、MENUBAR と入力して 1 に設定します。右端の[Express Tools]をクリックすると、ツールの10 個のカテゴリが表示されます。

注:AutoCAD LT では Express Tools をご利用いただけません。



13

自動調整配列複写

自動調整配列複写では、配列内のオブジェクトの互いの関係 が保持されます。そのため、配列パターン、間隔、位置を非常に 簡単に調整できます。オブジェクトの位置を1つずつ変更する よりもはるかに効率的です。

多くの設計図面には、左右対称のパターンや繰り返しパターンが含まれます。繰り返しパターンは配列とも呼ばれ、ARRAY[配列複写]コマンドを使用して作成できます。自動調整配列複写を使えば、2Dパスに沿って項目を配置して、矩形状や円形状のパターンを簡単に作成できます。

自動調整配列複写を作成した後は、次の操作を実行できます。

- ・元のオブジェクトのすべてのインスタンスを置き換える
- ・配列内の個々のオブジェクトの置き換えや編集を行う
- ・配列内の項目の数や項目間の距離を変更する

追加ヒント:3D で作業している場合、配列内の項目間の垂直方向の距離も指定できます。



14

寸法

1 つの DIM[寸法記入]コマンドを使用して、複数のコマンド を入力することなく寸法を立て続けに作成し、時間を節約しま しょう。

コマンド ラインに DIM と入力するか、リボンの[注釈]タブで[寸法記入] ツールを 探します。このコマンドでは、次の組み合わせに応じてさまざまな結果を得ることが できます。

- ・選択した寸法記入オプション
- ・カーソルを合わせたオブジェクトのタイプ
- ・カーソルを合わせたオブジェクト上の位置
- ・選択またはクリックした場所
- ・カーソルの移動方向

追加ヒント:QDIM[クイック寸法記入]コマンドを使用し、一連のオブジェクト全体 に寸法を一斉に適用することで、ワークフローをさらに効率化できます。









プロパティ コピー

[プロパティコピー](MATCHPROP[プロパティコピー])を 使用すると、オブジェクトのプロパティを別のオブジェクトに コピーできます。コピーできるプロパティには、色、画層、線種、 線種尺度、線の太さ、印刷スタイル、透過性、その他の特殊プロ パティがあります。

- 1. [ホーム]タブ > [プロパティ]パネル > [プロパティ コピー]をクリックするか、コ マンド ラインに MATCHPROP と入力します。
- 2. プロパティのコピー元のオブジェクトを選択します。
- 3. プロパティのコピー先のオブジェクトを選択して、[Enter]を押します。

追加ヒント: [プロパティの設定] ダイアログ ボックスを使用すると、コピーするプロ パティを指定できます。たとえば、2 つのテキスト間で画層をコピーするときは、文 字(スタイル) プロパティを無効にしておきます。上記の手順 2 を実行したら、S(設 定)を入力します。 [プロパティの設定] ダイアログ ボックスで、コピーしないプロパ ティをオフにして、[OK] をクリックします。



ダイナミック ブロック

ダイナミック ブロックを利用すると、時間を節約してファイル サイズを小さくできます。用途に応じて形状、サイズ、構成を 変更できるブロックを1つ作成すれば、複数のスタティック ブロックを挿入せずに済みます。

たとえば、さまざまなテーブルの種類と椅子の設定に対して複数のブロックを作成 する代わりに、1つのテーブルブロックを作成することができます。ブロックを挿入 した後、いつでもテーブルの種類を選択できます。ストレッチ、回転、反転などが可能 なダイナミックブロックを定義することもできます。

- 1. [挿入]タブ > [ブロック定義] パネル > [ブロック作成]をクリックします。
- 2. 図面に戻り、ブロックをダブルクリックし、[ブロック定義を編集] ダイアログ ボックスで[OK]を選択します。ブロック エディタ環境と[ブロック エディタ] リボン タブが表示されます。
- 3. ブロック エディタ内から[プロパティ]パレットを使用して、拘束、アクション、 パラメーター(ルール)を追加します。





グループ

グループ機能を使えば、ブロックを作成しなくても、同じオブ ジェクト群に対して複数の操作を実行できます。

グループ機能を使用すると、一時的なオブジェクトの関連付けをすばやく作成でき ます。オブジェクトをグループ化すると、グループ内のオブジェクトを1つ選択したと きに、すべてのオブジェクトが選択されますが、通常のブロックとは異なり、各オブ ジェクトを個別に修正できます。

- リボンの[ホーム]タブ > [グループ]パネルで[グループ]ツールをクリックする か、コマンド ラインに GROUP と入力します。
- 2. 関連付けるオブジェクトを選択し、[Enter]を押します。
- 3. グループ内のオブジェクトのいずれかを選択すると、グループ化されたオブジェ クトがすべて選択されます。グループの境界ボックスの中央にグリップが表示さ れ、すべてのグリップ操作を利用できます。
- 4. 後で利用しやすいように、グループに名前または説明を追加します。

1階 平面図 1 Rg: 1/100 文字 マママママン 1 Rg: 1/100 ママママン Standard 現限部など、25 スポスタイル Standard 現限部など、25 ママママン Standard 現限部など、25 国転用度 0

|分解



属性の分解

属性を含むブロックを分解する必要がある場合は、Express Toolの[Explode Attributes]を使用するか、コマンド ライ ンに BURST と入力して、重要な属性値を保持しましょう。

AutoCAD の EXPLODE[分解]コマンドを使用した場合、ブロックの属性情報 は保持されません。リボンの[Express Tools]タブにある[Blocks]パネルの [Explode Attributes]ツールを使用すると、ブロックを分解しながら、重要な属 性値を保持できます。

注: [Explode Attributes]を実行すると、ブロックがある画層や、属性の文字スタイルも保持されます。なお、AutoCAD LT では利用できません。



図面比較

Compare[図面比較]コマンドで、バージョンの異なる図面の 違いを可視化、レポートできます。変更点などをすばやく確認 することが可能です。

雲マークを有効にすると、異なる部分がハイライト表示され、1箇所ずつ順番に チェックできるので、すべての相違箇所をしっかり確認できます。そのため、見落と しを心配する必要がなくなります。 図面比較を開始するには、リボンの[コラボレート]タブから実行するか、コマンド ラインに COMPARE と入力します。

修正





マルチ テキスト

.

テキストを柔軟に編集できるように、1 行文字(TEXT[文字記入])ではなくマルチ テキスト(MTEXT[マルチ テキスト])を なるべく使用することをお勧めします。

複数の段落の文字列を1つのマルチ テキスト オブジェクトとして作成できます。また、組み込みのエディターを使用して、文字の外観、段、境界を書式設定できます。

リボンの[注釈]タブの[文字記入]ではなく[マルチ テキスト]を使います。

追加ヒント 1:既に TEXT[文字記入]や DTEXT[ダイナミック文字記入]でテ キストを追加している場合は、[挿入]タブ > [読み込み]パネルの[文字を結合] (TXT2MTXT コマンド)または、Express Tool の[Convert to Mtext](リボンの [Express Tools]タブ内)を使用すると、後からでも文字をマルチ テキストに変換 できます。

追加ヒント 2: Express Tools の[Arc Aligned] (リボンの[Express Tools]タブ 内)を使用すると、円弧に沿ってテキストを追加できます。

スペル チェック

チェック対象(W)	
MISPELL	
MISSPELL	
	辞書(T)
設定(E)	

スペルチェック

スペルチェック(SPELL[スペルチェック])を使用して、みっと もない誤字脱字をなくしましょう。追加オプションを使えば、 すべてのテキスト、現在の空間/レイアウトのみ、または選択し たオブジェクトのみをチェックできます。

SPELL[スペルチェック]コマンドは、リボンの[注釈]タブ > [文字]パネルにありま す(または、コマンド ラインで SPELL と入力します)。実行すると、[スペルチェッ ク]ダイアログ ボックスが表示されます。[設定]ボタンをクリックすると、チェック対 象をさらに細かくコントロールできます。

追加ヒント:関連する非常に強力な機能の1つに、カスタムの辞書の作成および更 新があります。通常の辞書には登録されていない業界用語を使用する場合、この機 能は非常に役立ちます。

検索と置換

MISPELL	▼ 場所のオプション ▼ ✓
置換後の文字列(1)	
MISSPELL	
	アクション
── 検索オプション ───	文字の種類
0	
Ο	0
0	

検索と置換

誤字を直したり、特定の項目の名前を変えたりする必要はないでしょうか。AutoCAD でも、お使いの文書作成ソフトウェアと同じように、単語を簡単に検索して置換することができます。

リボンの文字検索フィールドを使用するか、コマンド ラインに FIND と入力します。 スペルチェックと同様に、検索を実行する場所を選択できます。また、ダイアログの 展開アイコンをクリックすると、追加の検索オプションと検索対象に含める文字オ ブジェクトの種類のコントロールがさらに表示されます。

追加ヒント: ワイルドカードを使用すると、単語検索機能がさらに強力になります。 文字列内の1つ以上の文字を表す*@?~などの記号を使えば、作業効率を高め ることができます。



点日を指定・



クイック計算

図面内で計算を実行したいとお考えなら、クイック計算を使用すれば、AutoCADの図面環境内で計算を実行できます。計算した値は、実行中のコマンドの現在のプロンプトに直接送信できます。

AutoCAD では、距離や角度の測定値などのジオメトリの値が、オブジェクトの作図 に必要になることがよくあります。オブジェクトの作図に必要な距離や角度は事前 に把握できている場合が多いですが、これらの値が不明で、計算しなければならな い場合もあります。

コマンド ラインで QC と入力するか、[ホーム]タブ >[ユーティリティ]パネルの [クイック計算]ツールをクリックします。

追加ヒント:別のコマンドの実行時にクイック計算を使用するには、右クリックして ショートカットメニューを表示し、[クイック計算]を選択します。実行中のコマンド を中断することなく、クイック計算ツールが表示されます。

注釈





外部参照

外部参照(Xref)として図面ファイルを挿入できます。参照図面 に変更が加えられると、図面を開くか再ロードしたときに、現 在の図面に自動的にその変更が反映されます。

XREF[外部参照]コマンドを使用して[外部参照]パレットを開いたら、DWG アイコンを選択してファイルをアタッチします。アタッチされた外部参照ファイルは、別の図面にリンクされますが、その図面に実際に挿入されるわけではないため、図面のファイルサイズが大きくなることはありません。

外部参照ファイルをアタッチすると、外部参照の破損を防止するために、既定のパ スの種類が相対パスに設定されます。相対パスの参照ファイルを含む図面を別の 場所に保存した場合、相対パスを更新するかどうか確認するメッセージが表示され ます。

追加ヒント 1:複雑な図面で外部参照を見つけるには、[外部参照]パレットで項目 を選択して、図面上に表示されているすべてのインスタンスをハイライト表示しま す。逆に、図面上で外部参照を選択すると、[外部参照]パレットで外部参照名がハイ ライト表示されます。

追加ヒント 2:外部参照を選択し、右クリックして[外部参照ファイルを開く]または [インプレイス外部参照編集]で、外部参照を簡単に編集できます。



e-トランスミット

外部参照を含む DWG ファイルを他のユーザーと共有すると きは、e-トランスミットを使用して図面一式と関連ファイルを パッケージ化して送るとよいでしょう。そうすることで、他の ユーザーがファイルを開いたときに、リンクの破損などの問題 を防止できます。

ファイルを他のユーザーと共有したときに外部参照リンクが破損するのは、そのユーザーが参照ファイルを持っていないからです。

フォルダーで転送用パッケージを作成するには、アプリケーション メニューの[パ ブリッシュ]>[e-トランスミット]をクリックするか、ETRANSMIT[e-トランスミッ ト]コマンドを使用します。[転送パッケージを作成]ダイアログ ボックスがオプショ ンとともに表示されます。

転送用パッケージに含める図面ファイルー式を選択すると、関連するすべての従属 ファイル(外部参照ファイルやフォントファイルなど)が自動的に組み込まれます。

PDF 読み込み

PDF 読み込みツールを使用すると、PDF ファイルから現在の 図面に、ジオメトリ、塗り潰し、ラスター イメージ、TrueType 文字を読み込むことができます。

PDF ファイルは、設計者、施工会社、クライアントなどの関係者間で設計情報を交換するときに使用される最も一般的なファイル形式です。PDFIMPORT[PDF 読み込み]コマンドを使用すると、PDF ページに含まれているジオメトリを AutoCAD のオブジェクトとして現在の図面に読み込むことができます。PDF 読み込みツールには、リボンの[挿入]タブ > [読み込み]パネルの[PDF 読み込み]をクリックしてもアクセスできます。PDF ファイルを選択したら、[PDF 読み込み]ダイアログ ボックスを使用して読み込む内容を設定します。

追加ヒント:PDF に AutoCAD の .shx フォントが含まれている場合は、[SHX 文 字を認識]ツールを使用して、1 行のマルチテキスト オブジェクトに変換してくださ い。このツールは[挿入]タブの > [読み込み]パネルにあります。なお、[SHX 文字認 識]ツールは日本語には対応していません。

シート セット マネージャ

AutoCAD のシート セット マネージャを利用して、チームの進 捗を管理しましょう。チーム全員がアクセスできる 1 つの場所 から、図面レイアウト、ファイル パス、プロジェクト データを整 理して管理できます。

シート セット マネージャは、レイアウト シートのファイル管理システムとして使用 できるだけでなく、レイアウトとモデル空間の両方の保存済みビューの管理にも使 用できます。[フィールド]を使用してタイトル ブロックと吹き出しの情報の定義や 更新を行えるほか、セットの一部や全体を簡単にパブリッシュすることが可能です。 アプリケーション メニューの[新規作成]>[シート セットを作成]ウィザードを使え ば、簡単に使用開始できます。

追加ヒント: CAD マネージャーなどは、シート セット マネージャから直接 e-トラン スミットを使用することで、プロジェクト後のファイル納品作業を大幅に効率化で きます。

App Store

Autodesk App Store にはあらゆるアプリがあります。App Store にアクセスし、オートデスク公認の数百種類のプラグイ ン、拡張機能、スタンドアロン アプリケーションを入手して、 AutoCAD の生産性を高めましょう。

Autodesk App Store には、AutoCAD から 2 つの方法でアクセスできます。リボンの[注目アプリ]タブ > [App Store]パネルで[App Store に接続]を選択します。または、ログイン名の横にあるショッピング カート アイコンをクリックしてもアクセスできます。どちらの方法でも、既定の Web ブラウザーで App Store Web サイトが開きます。

上部の注目アプリのバナーには、オートデスクがおすすめするアプリがスクロール 表示されるため、最新のアプリを簡単にチェックできます。どの注目アプリも自分 の現在のニーズに合わない場合は、キーワードや好きな公開元で検索するとよいで しょう。

お気に入りのアプリを追加したら、[アドイン]タブにある[Apps Manager]ツー ルからアプリの表示、アップデート、アンインストールを行えます。

注:AutoCAD LT からは、App Store をご利用いただけません。

業種別ツールセット

時間を大幅に短縮する最も効果的な方法は、付属の AutoCAD 業種別ツールセットをダウンロードし、業種に 特化して開発された数千個や数万個のインテリジェントなオ ブジェクト、専用ツール、自動化プロセスを入手することです。

AutoCAD 2019 including specialized toolsets のサブスクリプションには、 7 種類のツールセットがすべて含まれています。

ツールセットはすべて、Autodesk Account または Autodesk デスクトップ アプ リを利用して個別にダウンロードする必要があります。<u>accounts.autodesk.com</u> に移動してサインインしたら、そこからツールセットを選択してダウンロードするこ とができます。

注:業種別ツールセットは Windows 環境でのみご利用になれます。

AutoCAD Web アプリ

会社のワークステーションにアクセスできない場合でも、 AutoCAD Web アプリを使えば、ピンチを切り抜けることが できます。Web アプリは Google Chrome ブラウザーで <u>web.autocad.com</u> にアクセスするだけで使えます。ダウン ロードやインストールは一切不要です。

Web アプリへのログインには(AutoCAD サブスクリプションの ID と同じ) Autodesk ID を使用します。デスクトップ版 AutoCAD のアプリケーション メニューの[名前を付けて保存] > [AutoCAD Web およびモバイルへの図面]で、 デスクトップ版で作成した図面を AutoCAD の Web アプリやモバイル アプリに 簡単に保存できます。逆に、アプリケーション メニューの[開く] > [AutoCAD Web およびモバイルからの図面]で、AutoCAD の Web アプリやモバイル アプリで作 成または編集された最新の図面にアクセスすることができます。

追加ヒント:デスクトップ版 AutoCAD でおなじみの機能であるコマンド ラインに も対応しています。

AutoCAD モバイル アプリ

クライアントとの打ち合わせに、重い紙の図面を持参する必要はありません。その場で図面を編集して、クライアントを喜ばせましょう。現場で最新の図面に即座にアクセスする必要がある場合、モバイルデバイスを使えば、DWG ファイルの表示、編集、作成、共有を行えます。

デバイスのアプリストアにアクセスし、お使いのデバイス用の AutoCAD モバイル アプリをダウンロードしてください。アプリへのログインには(AutoCAD サブスク リプションの ID と同じ) Autodesk ID を使用します。オートデスクの無償クラウド ストレージ アカウントや Google Drive、Dropbox、OneDrive などの他社のクラ ウド アカウントからも図面にアクセスすることができます。

追加ヒント: AutoCAD モバイル アプリは、Leica DISTO デバイスと直接接続でき ます。図面上に線分を作成して、DISTO を使用して計測すると、長さが自動的に更新 されます。

↓ : ↓ : ↓ ERASE[削除]

どんどん失敗しよう

失敗を恐れずに AutoCAD でいろいろと試してみましょう。 失敗すればするほど、ソフトウェアをうまく使えるようになり ます。

いろいろと試行錯誤ができるように、AutoCAD には間違いを修正するための手段が数多く用意されています。

- ・UNDO[元に戻す](または U)コマンドを使用すると、コマンド操作が取り消されます。元に戻す操作の数を指定すれば、コマンドを複数回入力しなくて済みます。
- ・ERASE[削除]コマンドを使用すると、選択したオブジェクトが図面から削除されます。
- ・ 00PS[オブジェクト復活]コマンドを使用すると、直前の ERASE[削除]コマン ドで削除したオブジェクトが復元されます。
- ・PURGE[名前削除]コマンドを使用すると、使用されていないブロック定義や画層などの項目が図面から削除されます。
- ・OVERKILL[重複オブジェクト削除]コマンドを使用すると、重複または重なって いる線分、円弧、ポリラインが削除されます。部分的に重なっているオブジェクト や隣接するオブジェクトは結合されます。

自分のやり方を見つけよう

AutoCAD には決まった使い方はありません。おそらく、どの タスクも 10 通り以上の方法で実行できるでしょう。他の方法 より効率の良い方法もありますが、自分が最もやりやすい方 法を使うことをお勧めします。

ヘルプリソースをご紹介します。ぜひご覧ください。

AutoCAD Web サイト autodesk.co.jp/products/autocad/overview

Autodesk Knowledge Network knowledge.autodesk.com/ja/

AutoCAD ブログ (英語) blogs.autodesk.com/AutoCAD

本書は、AutoCAD Facebook コミュニティ、Frank Mayfield 氏、Donnie Gladfelter 氏をはじめ、数多くの AutoCAD ユーザーの方のご協力のもと作成されたものです。

図面比較や Web およびモバイルへの保存機能など、本書で言及されている一部の機能は、AutoCAD 2019 で初めて導入された新機能です。

オートデスクは、製品およびサービスをライセンス形式およびサブスクリプション形式で提供します。オート デスク製品およびサービスのインストール、アクセス、その他の使用に関する権利は、該当する製品または サービス契約においてオートデスクによって明示的に許諾された権利に限定されます。オートデスクの無償ソ フトウェア ライセンスやクラウド サービスの使用にあたっては、ソフトウェアまたはクラウド サービスに添 付されるソフトウェア使用許諾契約またはサービス利用規約の使用条件を承諾および順守いただく必要が あります。オンライン ストアからサブスクリプションを購入する際は、提供されるプランの契約期間に基づい た月間または年間の固定料金の支払いで自動更新されます。製品や言語または地域によっては、特典や購入 オプションの一部をご利用いただけない場合があります。クラウド サービスを利用するにはインターネット に接続する必要があります。また、利用地域が限定されている場合がありますので、サービス利用規約をご確 認ください。

Autodesk、AutoCAD、およびオートデスクのロゴは、米国およびその他の国々における Autodesk, Inc. およびその子会社または関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、また は商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品および サービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を 負いません。

© 2018 Autodesk, Inc. All rights reserved.

Autodesk, AutoCAD, and the Autodesk logo are registered trademarks or trademarks of Autodesk, Inc., and/or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and/or other countries. All other brand names, product names, or trademarks belong to their respective holders. Autodesk reserves the right to alter product and services offerings, and specifications and pricing at any time without notice, and is not responsible for typographical or graphical errors that may appear in this document. © 2018 Autodesk, Inc. All rights reserved.

